

かいぎ NEWS

2019 **1**
No.1637



新年増大号

神峰神社

CONTENTS

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ■年頭所感 2~10 | ■常議員会／商工会議所の動き 23 |
| ■紙上名刺交換 11~17 | 会議所インフォメーション |
| ■新春特集：7部会座談会 18~21 | ■国・県・市からのお知らせ 24 |
| ■新年名刺交換会 22 | ■時代を読み解くツボ 25 |
| | ■協賛広告 26~36 |



発行所 ● 日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2 発行人 ● 鈴木昇

購読料 ● 200円 (購読料は会費の中に含まれています)

TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <http://www.hitachicci.or.jp/>



新しい時代に挑戦



日立商工会議所会頭 秋山 光 伯

平成31年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員事業所の皆さまには、平素より日立商工会議所運営全般にわたりまして、温かいご支援、ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申しあげます。

さて昨年は、本庶佑氏がノーベル医学生理学賞を受賞されました。氏の受賞は、

何十年にわたる確実な基礎研究の積み重ねが臨床研究で見事花開きました。ここに至るまでの日々のたゆまぬ探究心と忍耐力は大変尊

ピックでの日本選手の躍動する姿や海を渡り自身の可能性に挑戦した大谷翔平選手

した。他方では、指導者によるハラスメントやガバナンスについて問題提起されたこともあり



願っております。

世界経済では、米中貿易

摩擦、英国のEU離脱問題、原油価格の変動など自国至上に重きを置いた保護主義へのかじ取りが強まっております。これらのことから、世界経済は、特に昨年末あたりには株式・債権市場での変動の動きが見られるなど安全保障と両面で先行きの不確実性が高まっているように思われます。経済のグローバル化のなかでは、これらは対岸の事柄と思わずに自国にも瞬時にその波が押し寄せて来るとの心構えが大事だと思います。

国内の経済情勢では、輸出産業をけん引役に総じて持ち直し基調にあるとの判断が示されましたが、個人消費動向は依然一定水準に達しておらず、景気の押し上げを実感するには乏しいものに感じられました。平成28年経済センサスによると国内の全企業は359万社で、そのうちの99・7%が中小・小規模事業者358万社であります。わが国経済を支える中小・小規模事業者の成長は、わが国経済の持続的発展を継続するうえで極めて重要であります。首都一極集中化が進み地方が疲弊する今、中小企業の環境は、人材・人手不足などの労働力確保やデジタル革新等による生産性の効率化、事業の確実な継続・承継などいくつかの大きな課題に直面しております。商工会議所の担うべき役割と重要度は高まっていると認識しております。

当地域に目を転じますと、特に人口動態で若い世代の市外転出や高齢化社会の伸展、生産人口の減少等の要因と人口統計が示す将来の当市人口予測から一部には当市のパワーダウンを危惧する声があるようです。しかしながら、私はそれらの意見に異を呈したいと思っております。日立市には、連綿と続いている「ものづくり力」に裏打ちされた確固たる基幹産業、教育文化の充実、安全安心のまちづくり、コミュニティの組織力、交通渋滞解消への努力、それら日立の潜在力をもつてすれば日立市が今後とも茨城県の中核都市として発展していくものと確信いたしております。

商工会議所といたしましては、中小企業の喫緊の課題であります「労働力の確保」、「生産性の向上」、「事業承継と創業」、「消費税率引き上げと軽減税率導入対策」については、混乱をきたすことがないよう関係機関への働きかけを行って参りますほか、伴走型の経営支援機能をフル活用して、地域企業の皆さまの経営活動のサポートに全力で取り組んでまいれる所存です。

商業やサービス業関連では、購入決裁機能としてのキャッシュレス化について消費者や事業者の両面から時流の情報提供や研修の場を設けたいと考えております。あわせて、ネット通販など消費性向が変化するなかで、将来の商業・サービス機能についても研究を深めたいと思っております。ものづくり関連では、企業の再編やグローバル化など大きな潮流のなかで、地域中小企業の技術力を積極的に発信し、域外受注に結びつける動きを今後も支援してまいります。観光振興関連では、日立市・日立市観光物産協会と連携し、当市が有する「さくら」と海水浴場をはじめ産業や歴史・文化遺産等の観光資源に磨きをかけて活動をしてまいります。

加えて、本年は神峰神社大祭礼、茨城ゆめ国体・ゆめ大会などもあり多くの方の来訪が予想されますことからボランティアガイド事業をはじめ人的ネットワークづくりにも注力してまいります。

会員事業所の皆さまには、社会全体が大きな変革のなか、新しい時代に向き合い挑戦する気持ちを共にもち、一丸となって未来を切り拓いてまいりたいと存じます。

結びといたしまして、会員並びに関係の皆さまのますますのご健勝と飛躍の一年となりますことをご祈念し、年頭のご挨拶といたします。



年頭所感



日本商工会議所 会頭 三村 明夫

明けましておめでとうございます。

平成31年の新春を迎え、

謹んでお喜び申しあげます。

各地商工会議所の皆さまにおかれましては、各地域の経済の発展、また日本商工会議所の諸事業に対して、日頃から一方ならぬご支援・ご協力を賜り、年頭に当たり厚く御礼申しあげます。

世界経済は、IMFによれば、2018年の経済成長率はプラス3.7%を維持するものの、2019年の見通しはプラス3.9%からプラス3.7%に下方修正されました。これは、主に米国トランプ政権の保護主義的な貿易政策が、米中貿

易摩擦などの形で徐々に具体化してきたことなどを反映したものであり、貿易摩擦が今後さらに過激化すれば、さらなる下方修正リスクもないとは言いいけません。

米中貿易摩擦は、今後交渉の中で部分的な妥協はあり得るのかもしれませんが、単なる貿易摩擦ではなく、安全保障を含めた最新技術の主導権争いに端を発した米中間の覇権争いと捉えるべきであり、従って長く続くことを覚悟すべきだと思えます。われわれ

経済人は、そのような状況の中でどのように生き残っていくべきかを模索していく必要があります。

一方、トランプ政権の極めて不安定な政策は、日本に主體的な対応を求めています。米国がTPPからの離脱を決めた後、日本が国際社会で初めて主導的な役割を果たして、残った国々でTPP11を成立させることができ、昨年末には無事発効いたしました。日EU・EPAも、トランプ政権の動きを見てEUが急に熱心となり、署名にまで進むことができましたし、日中関係も中国側の態度に変化があり、両国首脳の間で相互往来を経て、新たな次元での関係強化が確認された年となりました。

わが国の国内情勢に目を転じれば、依然として個人消費に力強さを欠くものの、経済が引き続き緩やかな拡大傾向を続ける中で、需給ギャップも一昨年よりプラスに転じ、賃金も上昇を続けており、もはやデフレではない状況に達したといえます。今こそ、人手不足・少子高齢化・低い生産性・地方の疲弊など、わが国の構造的課題の解決に向け、生産性の向上などのサプライサイドの経済政策を推し進めるとともに、社会保障の持続可能性の向上と財政健全化にも取り組むべきであります。

昨年秋には安倍総理の3選も決まり、世界に誇るべき安定的な政権運営基盤が整いました。是非ともアベノミクスをステージアップさせ、「足元の安心」から「将来の安心」により軸足を移した経済財政政策の検討と推進を望みたいと思います。

内外情勢がこのように大きく変化する中、民間企業も自己変革に取り組まねばなりません。深刻化する人手不足にどう対応していくのか、AI・IoTなどの第4次産業革命における技術革新をどのように活用して自らの生産性を高めていくのか、海外市場を自らの成長にどう結びつけていけばよいのか。不確実・不透明な時代であるからこそ、企業経営者は目の前の課題をむしろチャンスとして前向きに捉え、自ら果敢に挑戦すべき時を迎えています。

そうした中、われわれ商工会議所は、地域の経営者に寄り添いながら、変化の波を新たな成長へとつなげていく動きを後押しする使命があります。まさに、企業の発展が地

域経済社会の発展につながり、そして日本全体の発展につながっていくべきであり、商工会議所創立から140年を経た今こそ、渋沢栄一翁が述べた「公益と私益の両立」の原点に立ち返り、自覚も新たに活動すべきであります。

私もまた、「中小企業に日本の課題が最も早く押し寄せた」ことに、中小企業の課題を解決することが日本経済の成長に直結するものだ」との信念の下、本年、商工会議所が取り組むべきものとして、以下の課題を掲げ、重点的に取り組んでまいりたいと思います。

1 点目は、「人手不足への対応と生産性向上」に向けた取り組みです。人手不足が中小企業の最大の経営課題となっている今、人材の確保・定着や生産性の向上に最優先に取り組まなくてはなりません。女性・高齢者・外国人など、多様な人材の活用とともに、業務運営の見直しも含めた働き方改革の推進や、IT・IoT、ロボット、AIなど革新的技術の活用を通じて生産性の向上を図っていく必要があ

ります。日本の全企業数の99・7%を占める中小企業の生産性向上なくして、わが国全体の生産性向上と持続的成長は不可能です。商工会議所としても、経営者の「気づき」を促し、身の丈に合った形でIT・IoTやAIを身近な経営改善に活用いただけるよう、すそ野の広い支援事業を積極的に展開してまいります。

2 点目は、「中小企業の活力強化と地方創生」への取り組みです。経営者の高齢化や後継者不足により、地域経済の基盤である中小企業の廃業数は増加を続けています。昨年、事業承継税制が抜本拡充されたことをテコに、円滑な事業承継を支援し、価値ある事業の存続を図るとともに、新たな創業も促していかなくてはなりません。地域において中核となる企業の存続と新たな創業は、そのまま地域の活性化とわが国の成長につながる極めて重要な課題です。商工会議所は、国の支援施策もフル活用させていただき、地方銀行などの協力も得ながら、引き続き円滑な事業承継、

創業支援に取り組んでまいります。また、農商工連携、地域資源を活用した観光振興、中小企業の海外展開など、域外需要の獲得と真の地方創生に向けてさらに取り組みを強化してまいります。

特に本年は、日本が議長国を務めるG20サミットやラグビーワールドカップが予定されており、また2020年には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎えるなど、世界的なビッグイベントが続きます。これらは、わが国の魅力を世界にアピールする絶好の機会であり、インバウンドのみならず国内観光を含めた観光振興により、地域活性化に尽力してまいりたいと思います。

3 点目は、2019年10月1日に予定されている「消費税率引き上げ」への対応です。消費税率引き上げ前後の需要変動に対する平準化対策に関しては、取引価格への円滑な価格転嫁が大前提であり、そのためには中小事業者への十分な配慮と支援が必要です。また軽減税率に関しては、導

入まで残り1年を切っている中で、昨年9月時点での日商の調査によると、多くの事業者が未だ準備に取り掛かっていない状況が明らかになりました。軽減税率は日本として初めての経験となりますので、一刻も早く準備を進めることが必要です。これまでも多くの商工会議所で説明会・相談会を実施してきましたが、引き続き国との連携を密にし、広報活動や事業者からの相談などに取り組む、事業者の円滑な対応を支援してまいります。

最後に、今春には天皇陛下がご譲位され、「平成」が終わり新しい時代の幕開けとなります。日本商工会議所は「未来を拓く商工会議所」として、全国515商工会議所のみならず、青年部、女性会との連携も今まで以上に強化し、前述の課題解決に尽力するとともに、企業、地域、ひいては日本経済の持続的成長の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

今年としは亥年



今年の干支は「亥」。猪（イノシシ）という動物は「猪突猛進」という言葉があるように、山の奥深くを前を向いてまっすぐ突き進んでいるようなイメージがあります。猪は頭が少し違うようです。猪は頭が良く、なんと泳ぎも上手でジャンプ力もなかなか、餌のあるところをうまくみつつけて上手に暮らす知恵ものとか。好物が稲（米）や芋などということとで人間のいる平地に現れ、農作物を荒らすいたずら者でもあります。でも、どこことなく憎めない愛嬌のある外観からか、猪を守り神とする神社があったり、善い猪の伝説などにも登場するなど日本人に昔から親しまれています。猪の子供には生後三ヶ月くらいまで瓜のような縞模様があり「うり坊」と呼ばれ、その姿はなんとも愛くるしいです。

亥年生まれの人には向上心にあふれ、忍耐強く、若くして成功する人が多いとか。きつと動物の猪と同じく、欠点すら何故か憎めない、知らず知らずに人を惹きつけるパワーがあるのかもしれないね。



輝く未来へのまちづくり

日立市長 小川 春樹

明けましておめでとうございます。

2019年の新春を皆様とともに
迎えることができましたことと、

心からお喜び申し上げます。

秋山会頭をはじめ、日立
商工会議所会員の皆様方に
は、日頃から本市のまちづ
くり温かく力強い御支援
と御協力を賜り、厚くお礼
を申し上げます。

昨年を振り返りますと、
本市では、「震災復興から
未来展望へ」をキーワード
に、新たな時代を見据えた
まちづくりを力強く展開し、

茨城港日立港区第3ふ頭、
かみね動物園「はちゅうる
い館」、そして大甕駅東西
自由通路と新駅舎など、地
域活性化をけん引する新た
な拠点の整備を着実に進め
ることができました。

また、十王町伊師の長者
山遺跡が日立市初となる国
指定史跡となり、ひたち
BRTでは国による自動運

転バスの実証実験が成功裏
に行われるなど、市内外に
誇れる話題も数多くありま
した。

本年は、新たな元号がス
タートし、新しい天皇皇后
両陛下をお迎えして開催す
る初めての国体、茨城県
で開催されます。日立市で
は、東日本大震災からの復
興のシンボルであります池
の川さくらアリーナをメイ
ン会場に、体操・新体操、
卓球、バスケットボール、
軟式野球の4競技5種目が
開催されますほか、デモン
ストレーションスポーツと
して、日立市発祥のパンポ
ンが開催されます。昨年は
皆様方のお力添えのもと、
リハーサル大会を成功裏に

実施することができました
が、本大会の大いなる成功
に向け、引き続き鋭意取り
組んでまいりたいと考えて
おります。

また、日立市は本年、記
念すべき市制施行80周年の
節目を迎えます。本年6月
には、日立鉦山の大煙突建
設の物語を描いた映画「あ
る町の高い煙突」が公開さ
れる予定ですが、この作品
にも描かれておりますとお
り、日立市は、市民、企業、
そして行政が丸となつて、
美しい自然、また独自の歴
史と文化を育んできたまち
です。日立市の未来が、平
成のその先の時代、そして
いつまでも輝き続けるよう、
皆様方のお力添えを賜りな

がら、本地域への活力を促
す様々な産業振興施策を展
開するとともに、この地で
連綿と育まれてまいりまし
た「ひたちらしさ」をさら
に磨き、次世代へとつない
でまいりたいと考えており
ます。皆様方におかれまし
ては、今後なお一層の御支
援と御協力を賜りますよう、
衷心よりお願い申し上げます。
次第であります。

結びに、日立商工会議所
のますますの御発展と、本
年が会員の皆様方にとりま
して、御家族共々、実り多
き一年となりますことを心
よりお祈り申し上げます。新
年のごあいさつとさせていただきます。



年頭所感

平成三十一年の新春を迎え

謹んでお慶び申し上げます。

商工会議所会員事業所の皆様におかれましても、健やかに新春をお迎えのことと思います。

平素より日立商工会議所の皆様には、商工会運営全般にあたり、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新春にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

我が国の経済は、国の積極的な経済政策により緩やかな回復基調が現状続いてきておりましたが、中小・



地域に持続的な相談支援を

日立市十王商工会 会長 和田 芳信

小規模事業者を取巻く現状は後継者不足に苦しむ企業も多く、個人消費についても、一〇月に控えた消費税増税による個人消費の駆け込み需要・反動減が心配される中景気回復の実感を感じることがますますできなくなってしまうのではないかとという不安があり、厳しい現状が続くのではないのかと思われま。

このような中、商工会では会員の皆様の活性化に対

する支援体制をより拡充・強固なものにすることができるように、基本であります巡回指導の強化に努めていき、課題やニーズに対応した支援や指導等を徹底して行っており、そこから得た経営問題等を把握して、経営計画の策定等に生かし効果的支援を迅速に行い、会員の満足度アップに努めていきたいと考えております。

又、地域経済を支える小規模事業者の持続的発展を目的とする「経営発達支援事業」を実施し、個社の経営相策や実行支援をするため、事業者に寄り添った「伴走型支援」が求められてお

り、経営支援に関することやマーケティング調査、事業者の経営診断、ビジネスプランの作成実行支援、販路開拓等に関する支援に力を入れて支援に努めていきたい。

このことを踏まえ、会員の方々のニーズは何なのか、またそのニーズに対応できる支援とはどんなものなのかということを常に念頭に置きながら、会員事業所の方々への支援に本年も邁進して参ります。

今後とも会議所皆様との連携を密にしながら効果的な支援を行っていききたいと思っております。

最後になりましたが、皆

様にとって本年が良い年になりますようご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2019

副会頭年頭所感



副会頭 小峰 保信



新年あけましておめでとうございます。会員事業所の

皆様には謹んで新年のお喜びを申しあげます。

当所事業運営につきましては、平素よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

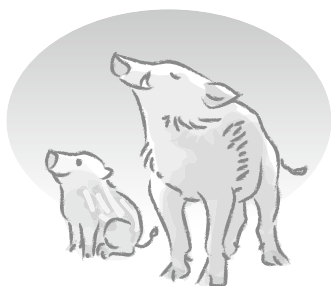
さて、昨年の我が国の経済は、戦後最長に迫る景気回復局面にあったものの、年入り後は天候不順や自然災害の影響により企業の生産活動が一進一退で推移するなど景気に足踏み感がみられるようになりましたが、秋以降には徐々に緩和してきて、景気は回復軌道に復帰しつつあるとの判断となっていました。しかし、我々中小企業を取り巻く環境は、先行き不透明な状況が続いております。

また、製造業界でもI・O

Iの進展などにより、これまでのものづくりから変革の時を迎えてようとしております。

このような状況の中において、自社の強みを再認識し、顧客へアピールしていく事、新たな経済環境の中で、変革の時代に向かって挑戦して行く攻めの企業経営が必要かと思われまふ。そして、商工会議所が支援できる事は何かを議論しながら協力してまいりたいと思っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

会員の皆様には、より良き年でありますよう、ご祈念申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。



副会頭 郡 司 洋子



新年あけましておめでとうございます。会

員の皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃からご支援、ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

昨年の夏は記録的な猛暑で、日立市天気相談所の観測では7月の平均気温が26.2℃(平年比+3.2℃)と平年よりかなり高くなり、観測開始来第1位の高い気温になったそうです。思い返せば、昨年の桜の開花も例年に比べ1週間程度早かったもので、この頃から気温の上昇が既にはじまっていたのかもしれない：

今年(今年)は5月1日に皇太子様が新天皇に即位されます。新しい元号がどうなるかも楽しみです。また、9月

から10月にかけて「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。日立市では体操・バスケットボール・卓球・軟式野球が行われますが、私達市民にゆかりのパンポンもデモンストレーション競技で行われるのでとても楽しみです。

私の所属する日立珠算連盟も、今年は県内外の関係者が日立市に集まる会合を予定しております。国体と共に日立市に來られる方々をおもてなしすることが、今後の日立市の活性化に繋がると思いますので、これから会員の皆様のお知恵やご支援をいただきながら、人と人をつなぐ橋渡し役となれるよう努めてまいりたいと思います。

皆様にとって、実り多い1年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

副会頭 武田 太志



新年おめでとうございませう。会員事業所の皆様には、

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年1年は、平昌冬季オリンピックやロシアサッカーW杯での日本勢の活躍、大リーグでの大谷選手の活躍など、スポーツではうれしい話題もたくさんありましたが、異常気象の影響で

でしょうか、日本全体で地震や台風による洪水、猛暑など自然の災害に振り回された1年でした。周辺より涼しいとされる日立市でさえ、「今年は暑かった。」と皆さん言われるように、街を歩くのが憚られるような猛暑でした。一方で「世界経済は」というと、自国ファーストの政治が影響し、イスラム圏の緊張や米中の経済摩擦、新興国の金融危機などですれど好況を呈して

いた世界経済に陰りが見えた1年でありました。日本では、大企業は好業績で増収増益でしたが、地方では必ずしもそうでなく、都会への人口流出や働き方改革の推進が悪い影響で出ていて、「時給を上げてでも採用できない」「仕事があるのに休みを増やさなくてはいいけない」など、地域格差が目立つた1年だったように思います。

ではどうしたらいいか？自らの企業の個性をみがき、長所を際立たせ、日立市・茨城県以外からも注文をいただくようにする。人手不足の中でのIT化を推進して製品・サービスの質を落とさないようにするなど自分の中でいろいろ推考しますが、明確な答えはまだ出ていません。暗中模索の中にも「モノづくりの町日立」を活性化させる次の一手を何とか見出したいと思っています。商工会議所でも、インバウンド対策や海外からの人材の雇用や

キャッシュレス化など法制化や規格化が進んできておりますので、少しでも乗り遅れないように紹介し発信できるような活発に取り組んでまいりますので何卒宜しくお願い致します。

最後になりましたが今年1年が、会員の皆様にとって充実した年となりますようご祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

副会頭 松山 圭吾



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また、平素からは、日立商工会議所へのご支援、ご協力を頂きまして、厚く御礼申し上げます。

昨年の「今年の漢字」は、『災』でした。この言葉が

象徴するように、日本国内または、世界中が荒れた1年でした。今年は、どのような言葉が当てはまる年になるか分かりませんが、私達、中小企業の経営者にとって先は読み切れない、不安定な時代が続くものと感じられます。

私の生業である飲食業界も、後継者問題、人手不足、若い方の酒離れ、宴会数の減少、法人需要の低下など、不安要素がたくさんありますが、若い方の起業や新規開業が、少しではあります。日立の街の中に、少しづつ出てきております。とても嬉しい事です。この縁を大切にし、皆で協力しあい、共生出来る環境を作っていきたくと考えております。

私も日立商工会議所の副会頭を仰せつかり3年目になりました。本当に月日が過ぎるのは早いもので、2年があつという間に過ぎ、また、この中で色々なことを学ばせて頂きました。

私の生涯テーマであります『まちなかの賑わい作り』『市内の観光資源の発掘』『地産地消運動』など、まだまだ実行力が伴っていませんが、これからもじつくりと取り組んでいきたいと思っています。

また、日立商工会議所の総会員数は、一般会員と特別会員を含めて、約3,200事業所で御座います。会員になっていただけて、日立商工会議所会館にもお邪魔したことが無い、職員とも連絡を取ったことが無い方が、多いと聞きます。会員皆様の為の商工会議所ですから、遠慮なく、是非、これからも日立商工会議所を上手に活用して頂ければと願うところで御座います。

最後に、会員の皆様にとって、今年1年が、より良き年でありますように、ご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

謹んで新春のおよろこびを申しあげます。

本年が会員の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、当女性会では講演会や講習会などを随時開催

日立商工会議所女性会

会長 名倉 敏子



し、経営者としての資質向上や研鑽に努めるとともに、『二人一品持寄り運動』などの募金活動、納涼会、新年会など事業を通して会員相互の交流を深めるなど種々の事業を展開しております。

また、全国大会や関東大

会などへの参加をはじめ、県外へ出向くこともあり、その中で会員の方々と懇談したり、体験を共有することで多くを学び活力をいただいていると感じております。

私は様々な方と親交を深

年頭所感

会員の皆様には心より新春のお慶びを申しあげます。

日頃より、青年部活動に対しまして格別なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、青年部では昨年、「第6回常陸ノ国グルメフェス」「日立さくらまつり」花見茶

日立商工会議所青年部

会長 関 政明



屋出店協力などを通して、市内の賑わいづくりの一助となるべく取組んでまいりました。

また、部員間の研鑽・親睦向上のため様々な事業を実施し、これまで以上に部員との相互連携を強化することが出来ました。私自身

も青年部会長として県内をはじめ全国各地へ赴き、他青年部との意見交換や情報共有により、青年部だからこそできる新たな事業の発想など、各種事業の大切さを深く認識することができました。

本年度も残り僅かとなり

める中で、貴重なご意見やご提案をいただいておりますが、これまでの継続事業はもとより、今後は時流に沿ったテーマに基づく新しい事業にも積極的に取り組んで参りたいと考えておりますので、本年もどうぞ当女性会へのご協力とご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ましたが、会長として学んだ事を全部員で共有し、青年部の充実を図るとともに商工会議所活動の一翼を担う気概で進めてまいりたいと思います。

結びに、皆様にとりまして、実り多い一年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

出初め式

「出初め式」には、年の初めに行うさまざまな「事始め」の意味がありますが、一般には、消防出初め式がよく知られています。

わが国の本格的な消防組織の始まりは、江戸の明暦の大火(1657年)の翌年に徳川幕府が設けた、江戸の消防組織「定火消(じようびけし)」だといわれています。

この定火消が、万治2年(1659年)1月4日に、江戸上野の東照宮前で、初めての顔見世初め式を行いました。この日にちなんで、東京では明治時代には、1月4日には明治時代には、1月4日には、その後、大正5年からは1月6日(途中15日になったこともある)に行われるようになり、現在に至っています。

日立の出初め式は、1月13日の日曜日に行います。平和通りをメイン会場に午前9時から、式典やパレードなどいろいろな演技が披露されます。

歳時記